



岩松小学校だより



学校だより 第17号

令和8年9月1日発行

発行者 校長 真子靖弘

「自律・尊重・挑戦」で育む主体性

45日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。

1学期の終業式で子どもたちに、「夏休みは、『知・徳・体』の目標を立て、理想に近づく努力をしてほしい。**大切なのは結果よりも、目標に向かって努力する『過程（プロセス）』です**」とお話ししました。ご家庭での子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。

2学期の始まりにあたり、本校の最上位にある**教育目標**について改めてお話しさせていただきます。本校の教育目標は、「『**自律**』・『**尊重**』・『**挑戦**』を大切に**した学びがある学校**」です。その実現に向けた取組の中で、子どもたちの「**主体性**」を**育ん**でいます。

現在、AIが人間の知的活動を含め、社会の在り方を構造的に変容させつつあります。定型作業はAIが担い、人間は高度な意思決定や対人コミュニケーション、戦略立案に集中するという業務の再構築が進んでいくでしょう。また、価値観や考え方の多様化も一層進んでいくでしょう。

このような時代を、子どもたちがたくましく生き抜くために、本校は特に次の4つの力を大切に育てていきます。

自律：自ら考え、判断・決定し、行動する

尊重：他者の価値観や意見、人格などを認め大切に扱う

挑戦：失敗を恐れず、新しいこと・困難なことに立ち向かう

主体性：自分の考えを伝え、皆で新たな価値を創る



これらの力を育むため、**授業や行事を通して**、子ども自身に「**自分で選んで決める（自己選択・自己決定・自己調整）**」経験をさせたり、**異学年や大人と交流する時間**を設けたり、運動会や講演会、自慢大会などの行事を**子どもたちが主体となって企画・運営**していきます。

学校は「**小さな社会**」です。この場所で、一人ひとりが自らの可能性を広げ、同時に社会の一員としての役割を学び、未来をたくましく生きる力を育ててまいります。

「学校をきれいに」～自ら気づき、動く岩松っ子の姿～

夏休み中の朝、出勤した際のことです。グラウンドに目をやると、前夜のものと思われる花火の残骸が散乱していました。道具を一度校長室へ置き、急いで片付けに向かおうとした時のことです。すでにグラウンドでは、学童保育へ登校してきた**2年生の女子児童2人**が、花火の残骸を一つひとつ集めて片付けを始めていました（先に気づいて駆けつけた廣末先生と一緒に作業をしていました）。

誰に頼まれたわけでもなく、「**グラウンドをきれいにしたい**」という純粋な思いから、**ごく自然に行動へ移す姿**に、大きな感動と感服の思いを抱きました。子どもたちの素晴らしい行動力から元気をいただき、その日は終日、とてもすがすがしい気持ちで仕事に臨むことができました。



自分たちの学校や地域を思い、主体的に動くことができる子どもたち。**こうした温かい「岩松っ子」の姿に、本校は日々支えられています。**

AI教材「キュビナ」で広がる自律的な学び

本校におけるAI学習教材「キュビナ」の使用率が、**全国でもトップクラス**であるという嬉しい知らせが届きました。詳細な分析はこれからですが、子どもたち一人ひとりが自分の「好き」や「得意」を伸ばし、苦手な課題の克服に主体的に取り組んできた素晴らしい結果だと捉えています。

2学期も引き続き、自分に必要な学びを自ら深めるための「心強いツール」としてキュビナを活用し、さらなる成長につなげていくことを期待しています。



【緊急告知】第2弾 児童企画「自慢大会」開催決定！

児童企画「自慢大会」が再び！ 子どもの意外な一面が見られ大好評だった**第二弾の開催が決定**しました。開催日時は**9月25日(金)13:05～13:40**です。保護者様もご自由に参観ください。